

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年8月13日
【四半期会計期間】	第64期第1四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	株式会社リョーサン
【英訳名】	Ryosan Company, Limited
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 栗原宏幸
【本店の所在の場所】	東京都千代田区東神田2丁目3番5号
【電話番号】	03(3862)2591(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役上席執行役員経本部長 西浦政秀
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区東神田2丁目3番5号
【電話番号】	03(3862)2591(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役上席執行役員経本部長 西浦政秀
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第63期 第1四半期 連結累計期間	第64期 第1四半期 連結累計期間	第63期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (百万円)	63,560	57,943	249,688
経常利益 (百万円)	616	917	3,974
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	413	665	1,480
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	739	93	1,494
純資産額 (百万円)	93,128	86,010	87,861
総資産額 (百万円)	165,806	145,319	146,588
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	16.89	28.40	62.07
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	56.2	59.2	59.9

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 3 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動については、EDAL RYOSAN ELECTRONICS (SHENZHEN) COMPANY LIMITEDを新規設立のため連結の範囲に含めております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、財政状態及び経営成績の異常な変動等投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項は発生しておりません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年6月30日）における世界経済は、米中貿易摩擦の影響等から減速基調となりました。日本経済も海外経済の減速を受け、輸出が減少する等、力強さを欠く状況となりました。

当社グループが従事しておりますエレクトロニクス業界も特に中国経済減速の影響を受け、産業機器分野を中心に需要の低迷が続いております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりです。

#### 財政状態

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて12億68百万円減少し、1,453億19百万円となりました。

また、純資産は、前連結会計年度末に比べ18億51百万円減少して860億10百万円となり、自己資本比率は59.2%となりました。

#### 経営成績

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、市場減速の影響を受け、売上高は579億43百万円（前年同期比8.8%減）、営業利益は8億21百万円（前年同期比33.8%減）、前年度生じた為替差損の反動から経常利益は9億17百万円（前年同期比48.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億65百万円（前年同期比60.8%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### イ 半導体事業

システムLSI、個別半導体、メモリの販売並びにシステムLSIの開発を行っております。当第1四半期連結累計期間は、産業機器向けビジネスの落ち込み等により、売上高は344億65百万円（前年同期比10.9%減）、営業利益は4億14百万円（前年同期比28.4%減）となりました。

#### ロ 電子部品事業

機構部品、表示デバイス、電源を販売しております。当第1四半期連結累計期間は、2018年度上期まで好調推移したコンシューマ向けビジネスの反動減等により、売上高は187億41百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益は5億55百万円（前年同期比19.6%減）となりました。

#### ハ 電子機器事業

システム機器、設備機器を販売しております。当第1四半期連結累計期間は、大口ビジネスの終息の影響があったものの、付加価値の高い商品の取り扱い等により、売上高は47億36百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益は69百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費は2億30百万円であります。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	155,673,598
計	155,673,598

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (2019年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	25,000,000	25,000,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は、100株であり ます。
計	25,000,000	25,000,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年4月1日~ 2019年6月30日	-	25,000	-	17,690	-	19,114

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,570,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 23,405,900	234,059	-
単元未満株式	普通株式 23,900	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	25,000,000	-	-
総株主の議決権	-	234,059	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式90株が含まれております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社リョーサン	東京都千代田区東神田2丁目3番5号	1,570,200	-	1,570,200	6.28
計	-	1,570,200	-	1,570,200	6.28

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,580	22,761
受取手形及び売掛金	1 62,109	1 56,965
たな卸資産	44,680	42,177
未収入金	7,621	6,003
その他	373	527
貸倒引当金	34	37
流動資産合計	129,330	128,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,090	3,011
土地	6,145	6,021
リース資産(純額)	551	613
その他(純額)	146	145
有形固定資産合計	9,934	9,792
無形固定資産		
963	963	960
投資その他の資産		
投資有価証券	4,043	3,776
繰延税金資産	205	238
その他	2,221	2,260
貸倒引当金	109	106
投資その他の資産合計	6,360	6,169
固定資産合計	17,258	16,921
資産合計	146,588	145,319



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1 29,760	1 30,643
短期借入金	23,268	21,193
リース債務	173	235
未払金	1,172	1,227
未払費用	1,348	596
未払法人税等	201	246
賞与引当金	-	401
その他	260	2,257
流動負債合計	56,185	56,802
固定負債		
リース債務	439	437
繰延税金負債	280	286
退職給付に係る負債	1,732	1,695
資産除去債務	31	30
その他	57	57
固定負債合計	2,541	2,507
負債合計	58,726	59,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,690	17,690
資本剰余金	19,114	19,114
利益剰余金	55,572	54,480
自己株式	6,531	6,531
株主資本合計	85,846	84,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,546	1,370
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	495	92
退職給付に係る調整累計額	26	22
その他の包括利益累計額合計	2,015	1,256
純資産合計	87,861	86,010
負債純資産合計	146,588	145,319

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	63,560	57,943
売上原価	58,319	53,323
売上総利益	5,241	4,620
販売費及び一般管理費	4,000	3,798
営業利益	1,240	821
営業外収益		
受取利息	5	10
受取配当金	48	38
持分法による投資利益	-	0
為替差益	-	183
受取賃貸料	7	14
雑収入	59	37
営業外収益合計	120	285
営業外費用		
支払利息	153	183
持分法による投資損失	10	-
為替差損	574	-
雑損失	7	6
営業外費用合計	744	189
経常利益	616	917
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	0	-
特別利益合計	0	1
特別損失		
投資有価証券評価損	-	8
特別損失合計	-	8
税金等調整前四半期純利益	617	910
法人税等	203	245
四半期純利益	413	665
親会社株主に帰属する四半期純利益	413	665

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	413	665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	175
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	251	587
退職給付に係る調整額	2	4
その他の包括利益合計	325	759
四半期包括利益	739	93
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	739	93

【注記事項】

( 継続企業の前提に関する事項 )

該当事項はありません。

( 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更 )

EDAL RYOSAN ELECTRONICS (SHENZHEN) COMPANY LIMITEDは、新規設立のため当第 1 四半期連結会計期間より、連結の範囲に含めております。

( 会計方針の変更 )

( IFRS第16号「リース」の適用 )

国際財務報告基準 ( IFRS ) を適用している在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」( 2016年 1 月13 日。以下「IFRS第16号」という。 ) を、当第 1 四半期連結会計期間より適用しています。

IFRS第16号の適用により、借手のリースは、原則としてすべてのリースについて資産および負債を認識しています。IFRS第16号の適用にあたっては、その経過的な取扱いに従って、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

( 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理 )

該当事項はありません。

( 追加情報 )

該当事項はありません。

( 四半期連結貸借対照表関係 )

1 四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日及び振込実施日をもって決済処理しております。なお、当四半期連結会計期間の末日は金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 ( 2019年 3 月31日 )	当第 1 四半期連結会計期間 ( 2019年 6 月30日 )
受取手形及び売掛金	550百万円	548百万円
買掛金	1,012	1,018

( 四半期連結損益計算書関係 )

該当事項はありません。

( 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 )

当第 1 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 1 四半期連結累計期間に係る減価償却費 ( のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。 ) 及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 ( 自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 6 月30日 )	当第 1 四半期連結累計期間 ( 自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 6 月30日 )
減価償却費	118百万円	134百万円
のれんの償却額	49	13

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月11日 取締役会	普通株式	1,836	75	2018年3月31日	2018年6月6日	利益剰余金

- 2 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

3 株主資本の金額の著しい変動

自己株式の消却

当社は、2018年5月29日開催の取締役会決議に基づき、2018年6月11日付で、自己株式3,500,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ14,941百万円減少しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月14日 取締役会	普通株式	1,757	75	2019年3月31日	2019年6月7日	利益剰余金

- 2 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	半導体事業	電子部品 事業	電子機器 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	38,688	19,667	5,204	63,560	-	63,560
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	38,688	19,667	5,204	63,560	-	63,560
セグメント利益	578	691	56	1,326	86	1,240

(注)1 セグメント利益の調整額 86百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	半導体事業	電子部品 事業	電子機器 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	34,465	18,741	4,736	57,943	-	57,943
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	34,465	18,741	4,736	57,943	-	57,943
セグメント利益	414	555	69	1,039	218	821

(注)1 セグメント利益の調整額 218百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)  
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	16円89銭	28円40銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	413	665
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	413	665
普通株式の期中平均株式数(千株)	24,485	23,429

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)  
該当事項はありません。

## 2【その他】

2019年5月14日開催の取締役会において、2019年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	1,757百万円
1株当たりの金額	75円
支払請求の効力発生日及び支払開始日	2019年6月7日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月8日

株式会社リョーサン

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 羽 鳥 良 彰

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小 出 啓 二

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社リョーサンの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社リョーサン及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。